



ミニヨコハマシティ 実施報告書

2013



NPO法人 ミニシティ・プラス
NPO法人 I Love つづき

第6回 ミニヨコハマシティ 実施報告書

1. 実施日程・会場

- 日時 2013年3月23日(土)24日(日)
- 会場 ハウスクエア横浜(都筑区中川の住宅展示場・住まいの情報館)
- 参加費 こども1日券 300円 2日通し券 500円(保険料、飲食実費として)
大人ツアー300円(大人カフェ・野菜スープ、大人の悩み相談室などが体験できます)

2. 参加状況

- 参加実績
 - 企画運営参加者 19歳までの青少年(事前公募 50人)
 - 当日参加者数 2日間でのべ2400人(うち保護者等1600人)
- 詳細内訳
 - こども参加者数 延べ800人
 - ◇ こども運営市民 50人(準備ワークショップからの参加)
 - 当日市民登録 23日 約400人 24日 約400人
 - 大人スタッフ 23日 30人 24日 33人



3. 実施概要

事前会議と準備



【2月24日(日)】 10時～12時 ミニヨコハ市議員を中心に幹部会議 in ハウスクエア

【3月3日(日)】 10時～12時 こども全体会議 in あいたい

【3月10日(日)】 9時～12時 こども全体会議 in ハウスクエア横浜

【3月20日(祝日)】 9時～16時 こども全体会議 in ハウスクエア横浜

【3月22日(金)】 10時～20時 準備(学校がある子どもは終わってから参加)

4. 当日イベント内容

【3月23日(土)】 《1日目》 10:00～16:00(17時半～19時交流パーティ)



まちのオープン、市長立候補者の立会演説会 大人ツアー等
ご当地ヒーロー「スタージャン」3名が午前中来てくれて、ジュニア編集局と街
を取材。

←スタージャンとジュニア記者がまちを取材！



終了後、東北の子どもたちがミニヨコのこどもたちと交流会を行い、翌日のイベントに備えた。

運営市民と東北のこどもたちで記念撮影。

【3月24日(日)】《2日目》10:00～16:00

まちやお店の運営、音楽ステージ 等

市長選開票、市長所信表明演説、ジュニア放送局(ゲスト 石巻日日子ども新聞)、大人ツアー等

東北の子どもたちも、まちを訪れ、こども市民となって、まちを楽しんだ。

11時～石巻日日子ども新聞の記者とつづきジュニア編集局記者による、ユーストリーム放送「ジュニア放送局」が行われた。横浜と石巻のご当地クイズバトルなども行った。

プロレスラー蝶野正洋さんが市長選開票のときにミニヨコを訪れ、市長らを激励。(表紙写真参照)

5. ミニヨコハマシティの公共施設やお店の詳細

【公共事業】

◆市役所(オーナー:1人)



受付・市民登録業務ほか、仕事が少ないときの公共事業を増やすなどの調整も行う。

◆ミニヨコ・スクール(オーナー:2人)



ミニヨコのまちのしくみやルールを学ぶ「ミニヨコスクール」。今回は、子どもたちのアイデアにより、紙芝居と人形劇による「ミニヨコスクール」が展開された。前回まではプロジェクター投影と原稿を読む方式だったが、この方法は子どもたちに伝わる内容でわかりやすいと好評だった。

◆税務署(オーナー:1人)



「ミニヨコ・スクール」でまちの勉強した市民が、市民登録時にもらった 30 ミニヨンのうち、10 ミニヨンを税金で徴収され、まちに入る、関所のようなところ。またお店の売上の30%を徴収するのも税務署の仕事。

◆銀行(オーナー4人)



事前にかなり準備したにも関わらず、銀行は忙しかった。銀行では、アルバイトした子どもが戻ってきたら時間を確認しチェックを入れ、30分の労働に対し50ミニヨコを支払う仕事。お金をつくる仕事(切って、スタンプを押す)。銀行員は、休みなく働く人と、すぐ遊びに行ってしまう従業員がいてもめたとか。しかし2日目にはルールを決めてすこし改善していたようです。

◆ジョブセンター(オーナー4人)



ミニヨコのすべての仕事の管理をここでこなす。あらかじめそれぞれのお店が何人雇うかを決め、登録しておく。その分のネームタグをつくり、その仕事を参加市民にあっせんする。行列が出来てごった返したが、大きな混乱はなかった。お店で売れるものがなくなり、店を閉めて勝手に遊びにいってしまうオーナーが出て、アルバイトを派遣しても働けないということがおき、問題になった。

◆MHK・ミニヨコ放送局(オーナー4人)



ステージで行われるイベントの運営。司会進行や担当した。立ち会い演説会、音楽ステージなどを行った。

そのほか落し物の放送や、業務連絡、お店のPR放送(有料)なども、行った。

◆つづきジュニア編集局(オーナー2人)



3月24日11時~12時の放送予定だったが、ネット環境がうまくつながらず、予定とおり全部を放送することができなかった。現在編集したものをジュニア編集局にアップしている。

前半:23日の午前中に、ご当地ヒーロー、スタージャンらとミニヨコ会場取材したものをダイジェストで放送。

<http://junior.minicity-plus.jp/2013/04/4512/>

後半:つづきジュニア編集局がゲストに石巻日々こども新聞の記者を招いてのトークショーと横浜&東北クイズ大会。たくさん正解した方に記念品をプレゼント。

<http://junior.minicity-plus.jp/2013/04/4515/>

◆警察(オーナーなし)

今回警察のアルバイトに来る人もほぼなく、警察は常設ではなくなってしまった。ときどきアルバイトに来る子どもたちにまちのハトロールに出てもらうなど、市役所から、仕事をお願いすることになった。

◆ **シャボンズ**(オーナーなしだったが、途中から当日参加の2人がオーナーを希望、採用された)



イベントでは紙コップ、紙皿などをいっさい使わず、WAVE ヨコハマから食洗車を借り、リユース。お皿洗い、という仕事名にせず、「シャボンズ」としているところがミソ。裏方ではあるが、やりたいと希望する子は確実にいて、いつもちゃんと回っている。

◆ **ミニココ土木株式会社**(オーナーなし)



横浜建設業青年会が、本物のショベルカーとダンプを持ってきてくれて、アトラクションとして、こどもたちを膝に乗せて、運転を体験させてくれた。ショベルカーですくう、新聞紙を丸めたボールをつくる仕事やこどもたちを並ばせる仕事、PRの仕事がこどもたちの仕事として行われた。

◆ **選挙管理委員会**(オーナーなし)

ミニココの市長選の政見放送と投票所の運営を本物の投票箱や記載台を区役所から借りてきて行った。投票は市長と副市長を選ぶため2人の名前を記載する。小さな子どもたちは選挙の意味がわからず、何をすればいいかわからず、泣き出す子もいたとか。選挙については、後述。市民証に投票したかどうかチェックする欄があり、アルバイトはまちの中の人に市民証を見せてもらい、投票していない人には、投票を促すなどして全員が投票するように努めた。

◆ **ゴミステーション**(オーナー1人)

資源循環局から借りた、ゴミ分別セットで、まちで出るゴミをすべて管理した。アルバイトはまちの中のゴミ拾いも行った。中学3年生が淡々と担当してくれた。

◆ **保育園**(オーナーなし)

中にはいれない、ちいさなこどもたちが遊ぶ場所。おねえちゃんおにいちゃんと一緒に入ろうと思ったけど、アルバイトが難しかった子はここでお母さんと待機する場所となった。

◆ **大人ツアー**(オーナーなし)



大人たちに、こどものまちを案内するガイド。大人ツアーは説明のあと、15分ほどこどものまちを見学できる。そのほか、大人カフェや東北と横浜のコラボの野菜スープ、大人の悩み相談などのできる券付き。1回10名~30名くらいが参加した。

◆ **ホームセンター**(オーナーなし)

ミニココのまちで使う、素材を管理するセンター。子どもたちはここにはさみやテープを借りにくる。

◆ **紙漉き屋&タネまき屋さん**(オーナーなし)

- ・中央公園で採れたコウゾからつくる手漉きのハガキづくり
- ・卵パックでやる花のタネまき公共事業ワークショップ。タネをまいた卵パックを持ち帰って、育ったら中川緑地につくるコミュニティナーサリーに持ってきてもらう。

【お店】

たべもの系

◆ いためとうもろこし(オーナー2人)

見るからにポップコーンなのに、「いためとうもろこし」だと譲らないオーナー。農家のきょうだいなので、きっと「とうもろこし」だということを強調したいのでは？と想像してみる。このお店はミニヨコ 2 日間でもっとも税金を収めた。(つまり売上ナンバーワンだった)

◆ フラワーカフェ(オーナー2人)



東京ガステント内でガスパッチョカフェと協力し、ホットケーキとハーブティを大人に出すお店。東京ガスさんに全面協力いただいた。

◆ ふしぎなデザートピザ(オーナー4人)



最初はフルーツパフェをやる予定だった 4 人組。しかし、保健所の衛生許可が出ず、直前の変更となった。しかし、みんなめげず、すぐに楽しいデザートを考案。ギョーザの皮にマシュマロを入れて焼いたり、りんごの缶詰のりんごをいれて焼きシナモンをふる、そのほかチーズを入れたものもあった。

◆ ヨコハマピザ屋(オーナー1人)



ちいさめのピザ屋さん。わずか小学 2 年生のオーナーが運営した人気店。途中隣の「みなとフルーツ」が、品切れで閉店したあと、高校生がお手伝いしてくれたとのこと。

◆ みなとフルーツ(オーナー2人)

横浜市立みなと総合高校の高校生2人が開いた。愛媛県の農業高校で収穫した「河内晩柑」という種類のオレンジを使って開発した「ばんかんジュース」をミックスした、フルーツポンチのお店を開きました。

◆ 楽しいたべもの屋さん(オーナー2人)



小さめのホットドック。キャンディのつかみ取りも行っていた。

◆ カフェ・ド・メロディ(オーナー2人)

たこ焼き型ホットケーキのお店。チョコソースをかけたもの。他にトースト、ココアドリンクも。

◆ カフェ:ラ・フレア(オーナー2人)



大人も利用できるカフェ&大人の悩み相談室。大人にも楽しんで欲しいという子どもたちが、大人も子どもも利用できるカフェを2Fで開催。飲み物とオーブントースターで焼いたクッキーを出していた。大人の悩みにも答える、「大人の悩み相談室」は、真剣にカウンセリングしてくれる、子どもたちに癒されるととても好評。

◆ 都筑ミニヨコパンケーキ(オーナー2人)

小さめのパンケーキを焼いて、缶詰のくだものを添えて、チョコソースやケーキシロップをかけて出すお店。

◆ カクテルバー&スナック(オーナー2人)



カゴメからいただいた、100%のおいしいジュースを注文に応じてミックスし、炭酸を加えたジュースのカクテルをつくるお店。スナックとしてリッツを添える。

◆ わたがし屋さん(オーナー2人)



ジャンケンをして、買ったら2本サービスという、わたあめ屋さん。いつも大人気で行列ができていた。

雑貨・ゲーム系

◆ 射的(オーナー2人)

ゴム鉄砲で、的にあてる、射的やさん。とくに男の子に人気があった。

◆ 千本引き(オーナー2人)



男の子用と女の子用があったり、お菓子と雑貨があったりと特色を出しながらの手づくりの千本引き。

◆ クローバー手芸(オーナー2人)

フェルトの小物入れ。高学年の希望者は自分で作れる。低学年はオーナーが注文を受けて作成。他に段ボールで

作る写真立て、クリアファイルのデコなど。

◆ キラピカランド(オーナー2人)



毛糸の指編みで作るアクセサリ屋さん。ビーズのヘアアクセサリなど。

◆ キッズ工房(オーナー2人)

鉛筆や消しゴムを思い思いにデコするお店。紙粘土で作るストラップも。

◆ なりきり写真館(オーナー2人)



レストランの背景前でコックさんやウエイター、お城の背景をバックにおひめさま、夜空に魔法使い、など個性あるスタイルでのなりきり写真館。なりきって写真をその場で一枚現像してあげるサービスはとても人気だった。

エンターテインメント

◆ Pink Friday(オーナー2人)

アルバイトにダンスを教える。お客さんから入場料をとるライブハウスの運営を、ハウスクエアの外のスペース「ワクワクスクエア」で準備した。しかしお客さんがこないため、閉店。ミニヨコ放送局と連携し、一日数回のステージを行い、投げ銭も集めた。ダンス、歌、バトンなどのエンタテイメント。

【市長選挙】



・立候補受付:3月23日12時まで ・立候補者立会演説会・投票所開設:23日13時

・投票締切:24日12時ごろ ・開票作業:24日12時~13時 ・当選発表・所信表明演説:24日13時半

市長選挙は候補者5人の中からふたりを選択することになった。

◆ 立候補者

岡本怜奈(小3)、武藤春香(小4)、山部日花里(小5)、百崎佑(中1)、加治満理奈(中3)

投票総数 404(うち有効票 392)

そのうち113票を獲得して、百崎佑くん(中1)が市長に決定。続いて、最年少の小学3年生、岡本怜奈さんが96票を獲得し、副市長になった。また、立候補者全員が市議員として活躍していく。

6. 東北のこどもたちのミニヨコ招待について

2012年7月に雄勝町、女川町をミニヨコ市民4名が訪れ、9月には、8名が雄勝町のお祭りでこどものまち雄勝を開催した。また11月には、石巻日日こども新聞の記者たちに「つづきジュニア放送局」にネット上で出演してもらい、交流した。それらの縁から、今回東北の子どもたちをミニヨコに招くことになった。招待する費用については、横浜市「よこはま夢ファンド」を通して、FREEing(株)に特別協賛をいただいた。

➤ 東北のこどもたちの地域別内訳

- ・雄勝町5名（雄勝小4男子、雄勝小4女子、雄勝中1女子、雄勝高1男子、雄勝高1女子）
 - ・女川町3名（4歳女子、女川小6男子、女川中1男子）
 - ・石巻3名（石巻中1女子、石巻高2女子、石巻高2女子）
- プラス付き添い大人4名

➤ こどもたちの撮った写真展とユーストリームの放送局への参加等

彼らには事前にインスタントカメラを送り、今の被災地のようすを伝えてもらうという意味も込め、自分のまちの好きな場所、好きな人の写真を撮ってもらい、撮ってもらった写真を会場内に展示し、多くの人にみてもらえる機会をつくった。また、ミニヨコのまちでは、思い思いにまちに入り、ミニヨコを体験してもらった。

24日の11時半～12時半くらいの時間には、石巻日日こども新聞の記者を中心に、つづきジュニア放送局のユーストリーム放送に参加してもらった。

➤ 東北のこどもたちのスケジュールについて

- ・23日朝現地→午後横浜着、チェックイン後、中華街、マリンタワー、関内等観光→夜、ミニヨコ会場にて交流会→都筑区の天然温泉スパガーデンシユ宿(カナリアン、ヨコハマプラザホテル)
- ・24日10時～14時半までミニヨコに参加。その後帰路へ。
- ・マリンタワーはリスト株式会社からチケットを協賛いただいた。
- ・天然温泉スパガーデンシユからチケットを協賛いただいた。

7. ミニヨコキット、マニュアルの展示について

ミニヨコは、こどものまち～ミニシティを開催したい人たちへの、ソフトとハードのセットを作りたいと、建築家の遠藤幹子氏にデザインを依頼、作成したものを会場に展示した。

・布袋に入った、コンテナに使っている軽量で丈夫な素材のダンボールに、カラフルな黒板塗料を塗ったセットが8袋17セット。黒板塗料でぬられているので、お店の看板やメニューなどをチョークで簡単に書き換えることができる。

・皮の茶色のトランクには、まちをつくるためのセットが入っている。その中にミニヨコのノウハウのマニュアルもはいつている。

・出張をキットだけでなく、こどもたちも出張するときに着るTシャツとネームタグは、フーテンの寅さんの腹巻をイメージしたデザインとなっている。



8. 大人ツアーについて

大人ツアーを 11 時半～ と 13 時半からの 1 日 2 回開催し、毎回定員を超える盛況ぶりだった。

まず、ミニヨコのまちのデザイン、コンセプトについて、ミニヨコキットの前で説明し、その後、大人立ち入り禁止ゾーンに入って解説後、15 分自由行動。その後大人のマルシェや東北の写真展示を案内して終了した。

大人ツアー参加の方には、都筑ハーベストの野菜スープと 2F のこどもたちの提供するカフェのお茶と大人の悩み相談が受けられた。

【東北支援グッズ等大人向けのイベントについて】

大人も参加できる企画として、今回は多くのみなさまの協力をいただきました。

➤ 石巻復興プロジェクト



復旧ではなく、復興を。お金ではなく、仕事を。

東京・神奈川を中心とした各種イベントへの石巻特産品、石巻焼きそばでの出店を通じて、少しでも多く



の方に石巻の事を認知して頂けるよう努めております。石巻復興プロジェクトのほとんどのメンバーが東京などで仕事を持ち、生活をしながらも、震災以降、“被災地以外に住みながら石巻のために

できること”を模索しながら活動してきました。東京・大森のウィロード山王商店街では、石巻のアン

テナショップ「石巻マルシェ」を毎週土曜日に開催しています。今日は、石巻の美味しい特産品と B 級グルメ垂涎的、石巻焼きそばを販売します。

こどもたちとのコラボ: 石巻マルシェ: 石巻焼きそば屋台

大森で毎週土曜日だけ開催している、石巻マルシェから出張して、石巻焼きそばを出してもらった。ミニヨコのこどもたちのアルバイト先としても人気だった。石巻焼きそばの麺とソースは石巻で、キャベツと卵は都筑産でつくるというコラボ商品になった。1 皿 300 円で売り、約 550 皿を売り上げた。

➤ 震災リゲイン

救済活動と復興後のビジョンを
一覧するアーカイブ



震災リゲインは「誰がどこで救済・復興活動が続いているか一覧できる」ポータルサイト。東日本大震災を機に発足した、震災情報専門メディアです。揺れ続ける日本では、私たちは誰もが震災被災者予備軍ともいえます。非常時のみでなく、通常時も震災に備える心構えが大切であると考えます。1 人でも多くの人が震災時に

その生命をつなぐ事ができるよう、過去、現在、未来の震災に関する情報発信を継続して行い、情報発信を通して被災者支援を行う支援者を支援し、被災者が必要な支援を迅速に受けることができるよう、つとめます。今回は宮城のこどもたちといっしょに横浜を訪れ、宮城の特産品もお届けします。

➤ 都筑ハーベストの会



特定非営利活動法人

都筑ハーベストの会

日本全国で心の障がいを持っている方は 2 百万人強にのぼり、この数字は 70 人に 1 人に相当します。一方で、日本は心の障がいに対する理解はまだまだ遅れており、福祉サービスも他の障害と比較して、大きく遅れています。地域

に十分な受け皿が無いために社会的入院と言われ、地域に出て行くことが出来ない入院患者が現在でも約 10 万人いるといわれ、在宅でも社会的な接点のない方が多々存在しているのが現状です。このような現状の中で、私たちは、地域の中で心の障がいをもっている方が地域で安心して過ごせる地域社会づくりをめざしています。今日は、地元都筑の野菜を用意しましたのでぜひお買い求めください。

こどもたちとのコラボ: 都筑ハーベストの野菜と東北のわかめの入ったスープをこどものまちにも提供

都筑区で畑をやっている福祉作業所都筑ハーベストに、野菜スープを販売してもらった。野菜スープには雄勝のわかめをいれてもらい、こちらもコラボでのスープとなった。子どもたちにはミニヨンで食べられるように配慮した。

➤ 今井かまぼこ店



今井かまぼこは、横浜市西区にある昔ながらの商店街(西横浜駅)、「藤棚商店街」に店を構えています。昨年の夏、ミニヨコ夏祭りを行った際、今井かまぼこの今井さんを講師に、「親子で手作りさつまあげ教室」をやってもらいました。そんな縁もあり、今回は、ミニヨコのこどもたちからのお願いごとをし、雄勝町の名物(ホタテ)と横浜市都筑区(野菜・ネギ)の名物をコラボした、さつまあげを特別に作ってもらい、販売してもらいました。ネギは安定した供給のある JA 横浜より協賛してもらいました。

➤ RQW(RQ 被災地女性支援センター)

3/23(土) 13時～15時 定員 10名 参加費:700円

～お気に入りのボタンを探して、世界にひとつだけのマイブローチを作ろう～

講師:Lee <プロフィール> 日常をハッピーにするおもしろいもの、スパイスの利いたアイテムを提案するハンドメイドブランド belllee【ベルリー】のデザイナー。

講師:木村 杏子 <プロフィール> 身につける人にとってスタイル以上の価値をもったものづくりをコンセプトにイラストや刺繍で作品を制作する。デザイナー。



3/24(日) ①11時～12時半 ②14時～15時半 各回定員 10名 参加費:700円

～お気に入りのプリザーブドフラワーを探して、世界にひとつだけのマイブローチを作ろう～

講師:吉岡 瞳 <プロフィール> フラワーデザイナー。大学卒業後、東京とロンドンのフラワーショップにて経験を積む。プリザーブドフラワーに出会い、生花とは異なる独特な色彩と風合いに魅かれ、作品の制作を開始。現在はプリザーブドフラワーによる色彩を生かしたリースやアクセサリなどの手作りするワークショップを開催。RQWは、南三陸町や気仙沼で震災の影響を受けた女性たちが元気に活躍し、積極的に復興に関わっていくお手伝いを、さまざまな手仕事、地域産品づくりのグループの相談などを通じて行っています。地域のひとおしが学びながら交流できるようなワークショップも行っています。今回はチャリティワークショップとして、参加費の一部を RQW の活動費にあてさせていただきます。

➤ 「石巻市立湊小学校」映画予告と監督のトーク

3/23(土)12:00-12:45(時間は少々前後することがあります)

2011年3月11日。東日本大震災。宮城県第二の都市、石巻市の死者・行方不明者は3,779人。ピーク時には5万758人が避難所生活を余儀なくされた。4月21日。避難所の1つとなった旧北上川に近い湊小学校を藤川佳三監督は訪れた。監督が、いちばん驚いたのは避難所の底抜けに明るい様子。でも何日か過ごしてわかったのは、笑顔の奥底にしまいこんだ悲しみの大きさだった。そして思った。ずっと一緒に過ごさないとわからないことがたくさんあるのではないだろうか。それから避難所が閉鎖される10月11日まで6ヶ月あまり。そこに泊まり込み、避難者に寄り添いながら、カメラを回した。それがこの映画だ。

藤川佳三監督 近影→



➤ かながわ東日本大震災ボランティアステーション



かながわ東日本大震災
ボランティアステーション

3/23(土)~3/24(日)随時複数回(15分間プレゼンテーション)

昨年できたばかりの新しい事業「教育こども支援事業」では昨夏、高校生ボランティアバスを大槌町、陸前高田市へ送り、冬に高校生研修バスを大槌町、陸前高田市へ送りました。その様子を実際に被災地へ行き、ボランティア活動などを行ったことがある大学生と高校生が報告します。被災地の現状や被災地で住んでいる高校生の声などをお伝えできればと考えております。2日間にわたって15分程度のコンパクトな報告を何度も行いま



すのでぜひお聞きください。かながわボラステは神奈川県、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、NPO 法人神奈川県災害ボランティアネットワークが一体となり、被災地ボランティア活動を支援しています。

➤ 石巻・手作りCMプロジェクト



3/23(土)~3/24(日)複数回(15分間の映像と音楽)

CM を見たら行ってみたいくなる街、イシノマキ。CM で見たお店の人。初めて訪れても初めての気がしない街、石巻へ出かけよう。

アーティストが制作する、手作り CM を地元商店にプレゼントして、震災からの復興に頑張っている地域に笑顔と元気を広め、ネット・マスコミを通じて日本中の人たちにも関心を持ってもらうプロジェクト。ライブやツアーなどを開催して石巻を訪問しています。都筑区に住む会社員が代表です。

『東日本大震災で被災された方々と被災地復興に関わる方々に贈る横断幕制作』

3/24(日)(15分間プレゼンテーション) 講師:さいたま市立土合中学校 石川敦子

「被災した方々を励ましたい。役に立ちたい。何か力になることはできないか?少しでも多くの人と協力をして大きなものにできたらその支援や気持ちは力強く伝わるのではないか?」家庭科の学習活動の要素と評価することができる題材としてひらめいたものが、生徒による「横断幕」の製作。～その活動の経緯、そこから芽生えた埼玉・土合の中学生と石巻の中学生の交流をお伝えします。



➤ 石巻を応援する音楽映像ライブイベント「原田博行 with SIESTA」を迎えて

3/24(日)11:00-13:00

ゲスト:「原田博行 with SIESTA」 参加費: ¥1000

映像と音楽からなる「石巻・手作りCMプロジェクト」の全作品を制作している3人のアーティストを迎えての2時間のイベント。宮城県(雄勝、女川、石巻)から12名の子供たちを招いて交流イベントを行うこのミニヨコハマシティで、横浜から石巻にエールを贈ります。

震災から2年を過ぎた今、震災の記憶を風化させず全国の人々に石巻の様子を伝え続けるために石巻の人たちと一緒に頑張ります。



【イベントプログラム 3部構成】

1.「石巻・手作りCMプロジェクト」鑑賞と解説 2.「石巻・手作りCMプロジェクト」CM曲生演奏 3. 座談会

ライブ会場で「石巻焼きそば」も召し上がりながら味覚でも石巻をお楽しみください。毎月1店舗のペースで制作してきたCM全作品を収録した心を癒す楽しいDVDもお求め頂けます。いただいたお金は「石巻・手作りCMプロジェクト」が継続して石巻を応援していくための資金として大切にに使わせていただきます。ぜひ、ご協力ください!

9. メディア掲載等一覧

- 事前記事

サンケイリビング新聞

<http://mrs.living.jp/denen/outing/307004>

タウンニュース

<http://www.townnews.co.jp/0104/2013/03/21/180864.html>

港北経済新聞

<http://kohoku.keizai.biz/headline/847/>

- 事後記事 タウンニュース

<http://www.townnews.co.jp/0104/2013/03/28/181695.html>

10. 事業運営詳細(カッコ内は主な協力内容、本当に多くの方々に協力をいただきました！ありがとうございました！)

主催 NPO 法人ミニシティ・プラス / 特定非営利活動法人 I Love つづき

共催 ハウスクエア横浜(イベントにかかる経費の補助、場所の全面などの提供、広報協力等) 後援 神奈川県、都筑区役所、こども環境学会、キッズデザイン協議会

特別協賛 **FREEing(株)** (ミニヨコキット製作経費の補助、T シャツやネームタグのデザイン、東北の子どもたちと引率の方たちにかかる経費のサポート等)

協力(順不同): **office mikiko**(ミニヨコキットのデザイン他)/**一般社団法人震災リゲイン**(東北の子どもたちのコーディネート等)/**東京ガス(株)**(子どものまちで使う調理用のガスコンロの提供、子どもカフェの運営サポート、東北の子どもたちへのプレゼント提供)/**カゴメ(株)**(子どもたちのお店へのジュース、ケチャップ等の提供)/**横浜市立大学**(大学生のミニヨコの運営お手伝い)/**東京都市大学**(ジュニア放送局運営サポート等)/**中川駅前商業地区振興会**(運営協力)/**パレット中川**(わたあめ機無料貸出)/**横浜建設業青年会**(子どものまちの土木イベントへの全面協力)/**都筑ハーベスト**(野菜スープの提供等)/**富士食品工業(株)**(都筑ハーベストの野菜スープの素、がらあじ提供)/**(株) NTT 東日本神奈川支店**(子どものまちのアトラクションへの全面協力、東北のこどもたちへのお土産提供)/**今井かまぼこ店**(東北と横浜のコラボさつまあげ作製協力)/**岩井の胡麻油**(野菜スープ、さつま揚げにトッピングする胡麻油と胡麻ラー油の提供)/**キッズ・メディア・ステーション(石巻日日こども新聞)**(こども記者のミニヨコへの派遣サポート等)/**茅ヶ崎おやじの会**(ミニヨコ運営サポート)/**石巻復興プロジェクト**(大人のコーナーのとりまとめ、石巻焼きそばのコーナー担当)/**一般社団法人トモノテ**(雄勝町の子どものまちの引率、コーディネート等)/**おちゃっこクラブ**(大人のコーナー販売協力)/**女川観光協会**(大人のコーナー販売協力)/**女川アートギルド**(大人のコーナー販売協力)/**石巻・手作りCMプロジェクト**(イベント運営協力)/**NPO 法人 Waveよこはま**(食洗車の割引貸出)/**横濱花菜屋**(都筑産の卵の値引き提供)/**横浜総合高校**(ミニヨコ運営協力)/**リヴィールエンタテインメント株式会社**(ゲストとして、スタージャン他 3 名のミニヨコのまちへの訪問取材)/**横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトサポーターズ**(子どものまちへの仕事提供等)/**アリストリスト有限公司**(蝶野正洋さんのボランティアステージ出演等)/**荏田南近隣センター商店会**(焼きそばのコンロ、机等の無償貸出)/**酒と米うちの商店**(焼きそばのコンロ、机等の運搬協力)/**JA 横浜**(野菜の無償提供)/**都筑区役所**(選挙機材、ゴミ箱等の機材の貸出提供)/**リスト株式会社**(東北の子どもたちへのマリントワー無料券提供)/**天然温泉スパガーデンイッシュ**(東北の子どもたちへの無料入場券提供)/**都筑中央公園**(竹箒などの借り出し)

後援: 都筑区役所/神奈川県/こども環境学会/キッズデザイン協議会

ミニヨコハマシティ 2013 は、年賀寄付金の助成事業です。

連絡先: NPO 法人ミニシティ・プラス 副理事長 岩室晶子

〒224-0001 横浜市都筑区中川 1-4-1-4F

Tel&Fax 045-306-9004 keitai 090-5405-5149 E-mail: minicityplus@gmail.com

ミニシティプラスのホームページ

<http://minicity-plus.jp/>

I Love つづきのホームページ

<http://webyoko.com/ilt/>

ジュニア編集局のホームページ

<http://minicity-plus.jp/>